

# 校長室だより

2月号

立春。暦の上では、春の季節になろうとしています。しかし、立春とともに日本全国で寒波がやってきました。まさしく極寒の毎日。私も、毎朝、いつもより早く起きて、車のフロントガラスが凍っていないか？、道路は凍結していないか？、雪が積もっていないか？、電車やバスは動いているか？を確認するために、まだまだ暗い中、玄関を出てパジャマ姿で震えながら「チェック！」するのが日課となっています。特に自転車やバス・電車を使って自力登校している生徒さんたちの安全が頭をよぎります。しかし、この寒い中、朝早くから自力通学する中学部高等部の生徒さんのたくましさに拍手を送りたいです。またスクールバス停や学校まで毎日送っていただく小学部の保護者の方々、そして子供たちに感謝しています。朝、学校に着いて下駄箱の前で白い息を吐きながら笑顔で挨拶してくれる子供たち全員に「あっぱれ」です。暖かい「春」が待ち遠しいですね。

さて先週日曜日、待ち遠しい「春」を探すために、蕾や木の芽探し散策をしました。生徒たちが実習等で毎年お世話になっている、紀伊風土記の丘岩橋千塚古墳群へ。様々な花や植物が「春」に蕾を膨らませて開花する力を蓄える時期かのように、自然豊かな特別史跡です。寒さに負けず蕾を膨らませて春を待つ花が子供たちの「がんばり」を応援してくれているように感じました。たくましい蕾の力をお借りするために写真に収めました。



ジンチョウゲ科ミツマタ（左端の写真）は万葉集にも詠われた花で春に蕾を膨らませ花咲かせます。ソメイヨシノも少しずつつぼみが膨らみはじめていました。

さて、生徒たちは、「寒い！」と言いながらも、朝から自転車や徒歩で頑張っけて登校し、校門をくぐって教室へ着くとすぐに更衣室へ行ってにぎやかに着替えを済ませて、自主的に毎朝のからだづくり（ランニング・ウォーキング・体操等）に励んでいます。朝から更衣室で着替えて颯爽とグラウンドへ駆け出す姿は感動です。小学部の子供たちも、スクールバスから降りて元気にみんなにあいさつを交わし、一人で教室へ向かう姿は日々頼もしく感じています。からだは寒いけれど、心は温かくなります。

